

★県北地域の感染症発生状況（3/11～3/17 福島県感染症動向調査より）

咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、伝染性紅斑の流行が見られます。インフルエンザ、RSウイルス感染症の小流行が続いています。レジオネラ症、百日咳が1名ずつ発生しています。

今月のトピックス

★麻疹（はしか）発生！！

3月18日に福島市内の医療機関から麻疹患者の届出がありました！

患者はフィリピンから帰国した県北保健所管内在住の40歳代男性です。麻疹予防接種歴はありませんでした。

接触者の健康状態については、保健所で現在調査中です。

また、郡山市内の医療機関からも3月22日に届出があり、この方は香港から帰国した40歳代男性です。

＜麻疹とは？＞

- 空気感染・飛沫感染・接触感染により感染
- 感染後約10日～12日で発症
- 最初に、38℃前後の発熱、咳、鼻水、喉の痛み等風邪症状や結膜充血が2～4日続く
- その後39℃台の高熱、発疹が出現
- 感染可能時期 発症の1日前～解熱後3日まで
- 肺炎や脳炎など合併症が出やすい

麻疹は、現在、関西や首都圏で流行しています。また、今回のように海外で感染し、帰国後発病する事例もあります。麻疹は非常に感染力が高く、患者と接触があった場合、麻疹の免疫が不十分な方（麻疹にかかったことがなく、かつ、予防接種を2回受けていない方）は感染する可能性が高いです。

麻疹の予防接種を受けたことがない方は、予防接種を2回実施することをお勧めします。特に、ゴールデンウィーク中に海外旅行を予定している方は早めに受けましょう。（※妊娠中の方は予防接種は受けられません。）

麻疹を疑うような症状が現れた方は、事前に医療機関に電話連絡の上、指示に従い受診してください。

もしも麻疹かもしれません。これから受診してよいですか？



●「麻疹」についての情報は下記で検索できます

検索キーワード「麻疹Q&A 国立感染症研究所」

●関係機関の皆様へ

麻疹対策ガイドライン等は下記サイトでご確認を！

検索キーワード「麻疹対策・ガイドラインなど 国立感染症研究所」

＜確認いただけるガイドライン例＞

- ・学校における麻疹対策ガイドライン 第二版
- ・医師による麻疹届出ガイドライン 第五版
- ・医療機関での麻疹対応ガイドライン 第六版

準備が大切！



＜39歳～56歳までの男性を対象に風しん定期予防接種が始まります！＞

今まで風しんの予防接種を受ける機会がなかった39歳～56歳までの男性を対象として、平成31年度から、風しんの抗体検査と抗体がない方には予防接種（麻疹・風しん混合ワクチン）が無料で実施されます。31年度は39歳から46歳までの男性に、市町村から受診用のクーポンが送付されます。是非受けましょう！

発行日 平成31年3月26日
発行元 福島県県北保健所
医療薬事課
住所 〒960-8012
福島市御山町8-30
電話 024-534-4113
ホームページ
検索キーワード

福島県県北保健所